

「市民の企画提案による協働のまちづくり事業」令和8年度実施分
公開プレゼンテーション 対象事業一覧



(プレゼンテーション 発表順)

【提案No.1】 行政提案型（負担金上限額100万円）／新規


<p>✳ 提案事業名：中心市街地とデジタルスタンプラリーを活用したSNS拡散型イベント 提案団体名：冬のあさひかわ盛上げ隊</p>	
<p>●事業概要</p> <p>道北最大級の冬季イベントである「旭川冬まつり」の目前にプレイベントを開催することで、市民や観光客の参加意識を高め、開催に向けた機運醸成を図る。</p> <p>買物公園など中心市街地の10か所程度に、QRコードを読み取ると指令が出現する「指令ポイント」を設置し、冬まつりのテーマに沿ったデジタルスタンプラリーを実施する。参加者がSNSでハッシュタグ「#旭川冬まつり」を付けて投稿する仕組みを通じて、国内外へ旭川の魅力を拡散し、優秀作品の投稿者には冬まつり関連グッズを贈呈する。</p> <p>市民、観光客、インバウンドが一体となる「街回遊＋SNS拡散型イベント」により、冬まつりの事前PRと中心市街地の賑わい創出を目指すものである。</p>	
●提案団体の役割	●市に期待する役割
<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプラリーのコンテンツ企画及び実施体制の構築 ・民間メディアや地域ネットワーク等を活用した広報活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の公式SNSや「くらしのアプリ」、市公式HPを活用した情報発信 ・旭川冬まつり実行委員会との連携に関する調整
●予算額	1,000,000円（うち負担金予定額 1,000,000円）

【提案No.2】 市民提案型①（負担金上限額50万円コース）／継続


<p>🏠 提案事業名：わくわくドキドキ体験をすべての旭川子どもたちに ～オール旭川高等教育機関と社会教育施設による体験型イベントの協働開催～ 提案団体名：一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム</p>	
<p>●事業概要</p> <p>市内3大学・短大・高専および5つの専門学校が連携し、科学や職業・実技体験を内容とした「わくわく体験フェス」を開催する。体験型イベントに参加経験のない子どもたちへ広く機会を提供し、知的好奇心の醸成や将来の職業観の形成を支援することを目的とする。</p> <p>令和8年度は科学館、民間商業施設（イオンモール旭川西）、社会教育施設の計3会場での実施に加え、旭川市教育支援センター（ゆっくらす）等への「出前型わくわく体験フェス」を展開し、すべての子どもが多様な学びに触れられる環境を創出するものである。これにより、高等教育機関と地域社会が一体となった持続可能な教育支援体制の構築を目指すものである。</p>	
●提案団体の役割	●市に期待する役割
<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく体験フェス」の全体企画及び運営 ・教育支援センター「ゆっくらす」等での出前型イベントの立案と実施 ・次年度（令和9年度）の学校巡回型事業に向けたプログラム開発および準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の会場調整及び各施設との出展に関する連絡・交渉支援 ・科学館における会場提供と、サイエンスブースの構成等に関する専門的助言 ・教育支援センターや市立小・中学校との連絡調整及び事業周知の協力
●予算額	750,000円（うち負担金予定額500,000円）

※提案No.3以降は裏面に記載しています。


【提案No.3】 市民提案型②（負担金上限額50万円コース）／新規

 提案事業名：うっかり誰かと何か始めたくなるカフェ 提案団体名：ボイスカフェ	
●事業概要 市民が抱く「やりたいこと未満」の小さな思いや関心を気軽に共有できる場が不足しており、活動の担い手不足が深刻化する中で、新たな参加層の掘り起こしが急務となっている。 本事業では、心理的安全性の高い対話の場を年間6回、市民交流施設や公共的空間等で展開する。参加者が否定されることなく対話を楽しめる場を提供することで、市民同士のゆるやかなつながりや、自発的な「小さな一歩」を促す仕組みを構築する。さらに、対話から生まれた関心の芽を可視化する「芽マップ（市民アクションマップ）」を作成・共有し、市民、行政、団体が連携して新たな協働の種を育む「まちづくりプラットフォーム」の土壌を形成することを目指すものである。	
●提案団体の役割 ・事業全体の企画、運営、進行管理 ・参加者アンケート設計、分析 ・ファシリテーション、記録、編集、音声収録 ・市民アクションマップの作成 ・初期アクションの伴走支援 ・広報物の制作（デザイン・SNS投稿）	●市に期待する役割 ・市広報媒体等を活用した広報支援 ・市内連絡調整、会場使用調整、保険確認などの助言 ・関係団体や地縁組織（町内会等）への協力依頼、紹介 ・テーマ別セッション等への参加 ・事業後の成果共有、次年度事業への展開活用
●予算額	430,000円（うち負担金予定額430,000円）

【提案No.4】 市民提案型③（負担金上限額50万円コース）／新規

 提案事業名：フェミフェス2026 提案団体名：フェミフェス実行委員会	
●事業概要 日本のジェンダーギャップ指数が依然として低い水準にあり、地域社会においても家事・育児の負担偏重や意識の格差といった課題が存在している。本事業は、行政だけでなく市民や地域社会全体の理解と協力を促進し、ジェンダー平等の意識を高めることを目的とする。 具体的には、年1回、フェミニズムやジェンダーについて気軽に学ぶ啓発イベント「フェミフェス2026」を開催する。有識者等によるクロストークや、本の魅力を紹介するビブリオバトル、関連団体や行政の担当部署による活動紹介ブースの設置などを実施する。これらを通じて、関連団体間のゆるやかなネットワークを強化するとともに、市民がジェンダーについて主体的に考える機会を創出するものである。	
●提案団体の役割 ・事業全体の企画・運営の中心的役割（イベント準備、ステージ・ブースの内容構成等） ・他団体や市民とのネットワーク構築、地域での活動基盤の強化	●市に期待する役割 ・イベントの企画、運営に対する助言・調整 ・行政の信頼性と広報力を活用した周知 ・啓発ブースの出展 ・ステージ企画（クロストーク等）への参加
●予算額	310,000円（うち負担金予定額300,000円）

【提案No.5】 市民提案型④（負担金上限額50万円コース）／新規

 提案事業名：ユースクリニック・カフェ事業 提案団体名：旭川にユースクリニックをつくる会	
●事業概要 旭川市において、若者の「からだ」「こころ」「性」に関する悩みや孤立は潜在化しており、体系的な支援体制や安心して過ごせる居場所が不足している。本事業は、旭川市や近郊のユース世代（子ども・若者）が、心身の健康や性について正しく学び、専門家に相談できる場を提供することを目的とする。 具体的には、月1回程度、駅前等のアクセスしやすい場所で「ユースクリニック・カフェ」を開催する。くつろげる空間の提供に加え、助産師や医師、ユースワーカー等に気軽に相談できる体制を整え、性の健康に関する体験型学習や図書の閲覧等を通じて、若者が自分自身の心と体を大切に、将来にわたって健やかに生きていくための力を育むことを目指すものである。	
●提案団体の役割 ・ユースクリニック カフェの広報活動及び開催 ・ユースワーカー等の専門職チームの編成、ユースへの相談対応 ・相談内容に応じた医療・福祉等の専門機関への適切な橋渡し	●市に期待する役割 ・ユース世代の実態把握と施策への活用 ・多様な教育機関・公共施設を通じた広報支援 ・若者支援に関する専門的知見の相互共有と活用 ・学校現場等への専門的知見の提供と連携検討
●予算額	550,000円（うち負担金予定額500,000円）